

# 西陵だより

学校教育目標

「開拓」創造・協力・根気・健康



学校だより

No. 10

令和元年12月18日

札幌市立西陵中学校

## 令和元年度全国学力学習状況調査について

4月18日に3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査について、本校の調査結果と札幌市の状況が提供されましたので、その分析及び課題と改善の方向性を報告させていただきます。

詳しくは裏面に記載しましたが、国語・数学・英語の3教科ともに、すべての領域において「全国平均を上回る」か「全国平均とほぼ同程度だがやや上回っている」結果となりました。特に英語の「話すこと」は参考値ながら全国平均を5ポイント近く上回りました。また、生徒質問紙からは、いずれの教科においても興味・関心を持ち、学ぶことの大切さを理解しながら学習している様子が見とれます。生徒の学びの状況にあわせ、より丁寧な授業づくりを行ってきた成果ととらえたいと考えます。

次年度は、新学習指導要領への移行前年となります。生徒が自ら学び、また課題を持って学習を深めることができる「課題探求的な学習」の充実に、一層努めてまいります。

また、生徒質問紙による本校の特長については、この頁の下に記載しましたので、ご覧ください。

### <<生徒質問紙の結果>>

○全国・全道・札幌市平均と比較して肯定的な(望ましいと考えられる)回答の比率が高い項目(+5%程度)

質問事項	肯定的な回答(%)			
	本校	札幌市	全道	全国
1 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話しますか	83.5	75.8	76.8	76.4
2 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	74.8	67.6	69.4	70.3
3 学級みんなで話し合ったことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	88.7	80.8	82.6	82.8
4 学校に行くのは楽しいと思いますか	91.3	79.8	78.7	81.9
5 人が困っているときは、進んで助けていますか	88.7	82.9	84.1	85.9
6 いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか	97.3	94.4	94.7	95.1
7 家で計画を立てて勉強をしていますか	54.8	46.4	49.2	50.4
8 読書は好きですか	82.7	72.7	70.9	68.0
9 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいですか	68.7	59.6	59.9	62.4
10 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	64.3	55.4	58.1	59.3
11 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか	80.0	67.8	70.9	72.8
12 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	80.9	56.4	63.2	61.5

※項目1～6からは、学校で仲間と話し合ったり、いっしょに何かに取り組んでいくことへの積極的な姿勢が見てとれます。特に項目4の肯定的数値は札幌市・全道・全国にくらべて10%前後高く、子どもたちの学校という生活の場への前向きな気持ちが現れています。それを支えているのは項目5、6に見られる人への優しさや、人間関係を正しく築こうとする姿勢であるといえるでしょう。項目11について肯定的な回答が多いのも、学校生活への充足感があるからこそだと思います。

※項目8から読書に親む姿勢や、項目9、10からは国際交流への関心の高さがわかります。また、項目11、12からは、話し合いや調べ学習を通してグループや個人で“考える学習”に進んで取り組んでいる様子が、項目7からは家庭学習に計画的に取り組もうとしていることがうかがえます。

○全国・全道平均と比較して肯定的回答の比率が低い項目(-5%前後)

質問事項	肯定的な回答(%)			
	本校	札幌市	全道	全国
1 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	86.1	92.6	92.9	92.8
2 住んでいる地域の行事に参加していますか	44.3	37.6	44.8	50.6
3 学校の部活に参加していますか	63.5	70.2	76.9	87.5

※項目1は、毎日の生活リズムに関わる項目です。朝からの規則正しい生活を心がけたいところです。  
※項目2は全国平均からは比率が低いですが、全道平均とは同程度、札幌市平均より高い比率です。発寒地域の地域活動が盛んな背景があるように思われます。

※項目3は昨年同様の結果です。昨年度も「放課後の過ごし方」の質問(今年度はありません)では、家でDVDやインターネット・ゲームなどで過ごす生徒の割合が全国・全道より高く、部活参加の割合は低い数値でした。今年度も同様の傾向が予測されます。テレビやゲーム、インターネットやスマートフォンなどについては、使用時間が著しく長くならないよう、ご家庭での見守りをよろしくお願いいたします。

# 全国学力・学習状況調査の結果概要及び改善の方向などについて

## 【 国語 】

### 本校の概要

#### 【領域】

#### 「話すこと・聞くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

#### 「書くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

#### 「読むこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

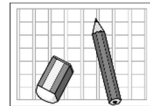
#### 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

### 今回の調査における課題

●話し合いの話題や方向を踏まえて自分の考えを持ち、相手にわかりやすく伝える表現について理解すること。

●伝えたい事柄について根拠を明確にして書くこと。



●文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つこと。

●封筒の書き方を理解し、文字の大きさや配列などに注意して書くこと。

### 改善の方向

○対話や討論、意見交換などの過程で、話し合いの目的や話題を確認し、内容に関して自分の考えとの共通点や相違点を整理するなどの学習活動の充実。

○課題に沿って得た情報について根拠として適切か検討したり、自分の考えと根拠のつながりが分かるように書いたりするなどの学習活動の充実。

○目的を持って文章を読み、必要な情報を取り出して自分の体験と結び付けて考える学習活動の充実。

○様々な書式に応じ、適切な字形や書体で書くなど、書写の力と生活や他教科の学習と関連させた学習活動の充実。

## 【 数学 】

### 本校の概要

#### 【領域】

#### 「数と式」

◇全国平均と同程度である。

#### 「図形」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

#### 「関数」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

#### 「資料の活用」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

### 今回の調査における課題

●数の集合と四則計算の可能性について理解し、簡単な連立二元一次方程式を解くこと。

●証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解すること。

●反例の意味を理解すること。

●グラフ上の2点のy座標の差を、事象に即して解釈すること。



●問題を解決するために、どのような代表値を用いるべきかを判断すること。

### 改善の方向

○四則計算の計算結果の特徴を的確に捉える活動を重視し、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして方程式を解く学習活動の充実。

○図形の合同条件等の基礎的な事項の理解をはかるため、互いに説明し合うなどの学習活動の充実。

○成り立つと予想した事柄について、常に成り立つとは限らないことを反例をあげて示す活動の充実。

○問題解決において用いたグラフのどの部分が何を表しているのかを、事象に即して解釈したり、説明し合ったりするなどの活動の充実。

○目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するという活動を取り入れた、統計的に問題解決する活動の充実。

# 【 英語 】

## 本校の概要

【領域】

「聞くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。



「話すこと」

△全国平均を上回っている。

「読むこと」

△全国平均を上回っている。

「書くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

## 今回の調査における課題

●日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること。

●与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すこと。

●日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を正確に読み取ること。

●与えられた情報に基づいて、適切に動詞を活用させるなど、基本的な文法事項等を理解して正確に文を書くこと。

## 改善の方向

○話し手からの情報の内容や意図を、目的をもって聞き、正しく理解して適切な応答をする活動の充実。

○話すための準備活動を十分にとる学習を発展させた、情報や考えなどを即興で伝え合う活動の充実。

○書かれた内容について、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解し、書き手が最も伝えたいことを判断させる活動の充実。

○既習の言語材料を目的・場面・状況に応じて、くり返し活用する言語活動の充実と誤りに生徒自身が気付くように促し、学習内容の定着を図る指導の工夫。

### 《記号の意味》

(△) 上回っている	正答率が、全国平均を3ポイント以上上回っている
ほぼ同程度	(◇) やや上回っている +3%以内
	(◆) やや下回っている -3%以内 ←全国平均正答率
(▼) 下回っている	正答率が、全国平均を3ポイント以上下回っている